

乳がん早期検診マスクで呼びかけ

10月13日 17時19分



今月は乳がんの検診を呼びかける「ピンクリボン月間」です。

橋本市の病院では医療従事者がピンクリボンをあしらったマスクを着用して早期の検診を呼びかけています。

この取り組みを行っているのは橋本市にある紀和病院です。

病院では乳がんの早期発見と治療の大切さを呼びかけようと、13日から医療従事者が予防や啓発のシンボルとなっているピンクリボンをあしらったピンク色のマスクを着用し、病院を訪れた人たちの対応をしています。

また、訪れた人にマスクを配りながら身近な人たちに乳がん検診を促すよう呼びかけていました。

乳がんは女性が発病するがんで最も数が多いとされていますが、日本対がん協会によりますと、新型コロナウイルスの影響で今年度、検診を受ける人の数は例年に比べ3割以上減少する見込みだということで、がんの発見が遅れる懸念があるということです。

紀和病院の梅村定司医師は「ピンクリボンマスクを見てもらうことで、検診につながってほしい」と話していました。

ピンクリボンマスクを着用しながらの業務は今月いっぱい続けるということです。

(NHK和歌山放送局ホームページより転載)